

メディアセンターの主な出来事<2017年度>

メディアセンター本部

1. 早稲田大学図書館との図書館システム共同運用

両校は5月12日に1986年に締結した「早稲田大学および慶應義塾の図書館相互利用に関する協定書」の枠組みを拡大し、「図書館システムの共同運用に関する覚書」を締結した。システムを共同で運用することでコスト削減、目録の標準化、サービスの向上と早慶図書館間の知的・人的交流促進を目指す。8月にシステム要件を提案依頼書(RFP: Request for Proposal)にまとめ、国内外のシステムベンダーに送付した。提案書が出された2社について慎重に比較検討した結果、Ex Libris社のAlma、およびPriom VEの採用を決定し、3月8日にプレスリリースも行った。今後は2019年度中の稼働を目指して両校で調整を進める。

2. 海外派遣研修

2016年に引き続き米国ワシントン大学日本人ライブラリアン招聘プログラムに採用され、1名(川本真梨子)を5月から半年間、また英国セインズベリー日本藝術研究所へ6人目となる職員1名(新保佳子)を9月から3カ月間派遣した。その成果を2月28日に開催した海外研修報告会で他のスタッフと共有した。

3. 第14回メディアセンター研修会の開催

11月22日に「学習・研究を支える図書館空間をデザインする」をテーマに三田キャンパス北館ホールで開催。理工学部岸本達也准教授、成城大学法学資料室隈本守氏、東京学芸大学前附属図書館長藤井健志教授に講演を依頼し、97名が参加した。

4. 支払い簡素化に向けた契約期間、支払時期の見直し

会計年度の異なる海外出版社等との取引について、大学会計に合わせた年度契約、および分割支払いへの変更について交渉を進めた。その結果、期ずれを最小限に抑え年度末の会計処理の手間を大幅に減らすことができた。

5. 電子ジャーナル問題への対応

値上がりの続く電子ジャーナル問題について、「学術コンテンツ整備連絡会議」を立ち上げ、メディアセンター所長、財務担当理事、研究担当理事で今後の対策について協議した。大手出版社とのパッケージ契約を維持するために、価格上昇分について間接経費からの支出が認められた。しかし財源にも限りがあることから今後も継続してこの問題について検討をすることとなった。

6. Webサイトの改訂

「慶應義塾大学デジタルコレクション」を公開し、福澤遺墨コレクションと重要文化財のコンテンツ、英語ページを順次追加した。一部の資料については、くずし字OCRによる透明テキスト付PDFを追加した。

三田メディアセンター

1. 書庫狭隘化に伴う資料再配置

図書館配架の洋書(請求記号B@520, 700, 900番台)を旧図書館へ移管し、図書館内、旧図書館内の資料の再配置を行った。また、山中資料センター内の資料再配置(雑誌)と、一部の資料(旧分類大型本X@)の三田への移管を行った。

2. 組織変更

雑誌担当を解体し、雑誌関連業務をパブリックサービス担当およびテクニカルサービス担当へ振り分け、雑誌担当事務室を閉鎖した。

3. 利用者サービス

- (1) オリエンテーションのプログラムに、留学生向け英語ツアーと通信教育課程生向けの図書館ツアー(いずれも春学期)、文献管理ツールの講習会(秋学期)を追加した。
- (2) メインカウンター、レファレンスカウンターでの筆談ボードの備え付けを開始した。

4. 館内の施設・設備の改善

- (1) 1階にイベントエリアを新設し、オリエンテーションエリアをデータベースエリアに改修した。
- (2) 4階フロアをリニューアルし、ゆったりと学習できる大型の閲覧テーブル4台を配置した。またセミナー室の各部屋に、49インチモニターを設置した。
- (3) 1階から地下1階への階段に幼児転落防止柵を設置した。
- (4) 図書館の外壁改修工事、図書館内の壁面塗装を行った。
- (5) 防犯カメラの更新・増設工事を行った。

5. Webページの改訂

- (1) オリエンテーションの複雑化した業務フローを見直し、業務管理システムを開発し、オンラインの申込フォームを作成、公開した。
- (2) 旧デジタルギャラリー内で公開されていた「福澤諭吉研究文献目録」の再整備を行い、著作一覧とともにPDFで公開した。

6. 広報・調査

- (1) 広報誌「知識の花弁」の読者アンケート、図書館2階「東閲覧室」の利用実態調査を行った。
- (2) レファレンスコレクション見直しのため、1階配架のレファレンスブックの利用実態調査を開始した。
- (3) 「三田メディアセンター利用案内」を全面改訂し、館内のセルフツアーガイドを作成した。

7. 出版物

- (1) 「古文書コレクションの源流探検—反町十郎、反町茂雄、木島誠三、木島櫻谷、そして…」(第29回慶應義塾図書館貴重書展示会目録)
- (2) 文献シリーズ No. 34「高橋箒庵文庫茶道関係資料目録」
- (3) 「知識の花弁—三田メディアセンターだより」No. 9 (2017. 4), No. 10 (2017. 10)

8. 主な受賞

保坂 睦『はじめての電子ジャーナル管理』（日本図書館協会発行）が2017年度私立大学図書館協会協会賞を受賞した。

9. 主な寄贈

- (1) 池田弥三郎旧蔵・折口コレクション（折口信夫自筆の軸など6点）
- (2) 備中赤木家蔵書（江戸時代以来の医書を中心とするコレクション300点強）
- (3) Jenifer Wightman「addendum」グーテンベルク聖書に関連した Art Work（1葉）
- (4) “Quaerendo”（vol. 1 no. 1—vol. 12 no. 4）, “The Book Collector”（vol. 15 no. 1—vol. 25 no. 4）, Robert Sabudaほか作の仕掛け絵本17冊
- (5) EIRIプロジェクト等で購入の15世紀から19世紀にかけての時祷書、景観図集など8点

10. 学外協力活動（貴重書出品、撮影協力）

- (1) 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築事業におけるデータベース構築」プロジェクトへの協力、「日本古典籍総合目録データベース」掲載予定。奈良文庫資料、富士川文庫資料（信濃町メディアセンター所蔵）
- (2) 熊本県立美術館「震災と復興のメモリー@熊本」（4月14日～5月21日）相良家文書 全1点
- (3) 泉鏡花記念館 特別展「1917—大正6年の鏡花」（9月30日～12月3日）泉鏡花自筆原稿、遺品 全17点
- (4) 北九州市立自然史・歴史博物館「最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真」（10月7日～12月3日）寛永十五年肥前嶋原陣之図、対馬宗家文書 全2点
- (5) 中津市教育委員会「『解体新書』と前野良沢」（12月6日～2018年2月12日）福澤諭吉自筆原稿 全1点
- (6) 福澤記念館 企画展「福澤諭吉と西南戦争～西郷隆盛と増田宋太郎をめぐる～」（1月27日～3月21日）福澤諭吉自筆原稿 全1点

日吉メディアセンター

1. 企画・展示

- (1) 日吉行事企画委員会（HAPP）2017年度新入生歓迎行事として、「ライブラリーコンサート in 日吉—図書館がコンサートホールになる2日間—」を図書館内ラウンジおよびAVホールで開催した（5月16日、23日）。
- (2) 山中散生コレクションの中から100点あまりを、神奈川県立近代美術館 葉山で開催された「コレクション展 1937—モダニズムの分岐点」に貸し出した（9月16日～11月5日）。
- (3) 日吉メディアセンターで初めて知的書評合戦ビブリオバトルを開催した（10月6日）。学部生、大学院生、職員合わせて6名がバトルとして参加し、チャンプ本、所長賞を決定した。また、12月20日には、理工学および湘南藤沢メディアセンターと合同で、ビブリオバトル地区対抗戦を開催した。

2. 館内の施設・設備の改修・変更

- (1) 日吉図書館1階のPCエリアを移動、増席したほか、PCエリア跡地に教科書・クイックレファレンス資料等の書架を移設した。
- (2) 2階西閲覧室をフリーアクセス化し、各席に電源コンセントを設置した。
- (3) 館内の喧噪をマスキングする効果を狙い、試験的にBGMを流した（1月22日～2月9日）。
- (4) 館内のサイン・掲示を見直し、デザインの統一やiPad miniを使用した利用案内の開始、不要な掲示の撤去、フロアマップの修正などを行った。
- (5) 地下書庫にコピー機を1台増設した。

3. 資料の移動・除籍

- (1) 図書館1階に配置していたレファレンス資料の一部を地下書庫へ移動し、従来から地下書庫にあったレファレンス資料とマージした。移動にあたってはアンケートを行い、1階に残す希望があった資料は移動対象から除外した。
- (2) レファレンス資料移動後に地下書庫の空き棚を調整・統合し、そこに3階の製本雑誌をすべて移動した。

- (3) 4階書庫狭隘化対策のため、一定の条件を満たした研究室図書を除籍することとした。1回150冊程度を対象とし、1か月程度の期間を設けて教員に確認をしたうえで、除籍作業を行っている。
- (4) 2階東閲覧室書架狭隘のため、S新書（1995年～2005年出版の約4,000冊）、L文庫（1985年～1990年出版の約1,000冊）を地下書庫に移動した。

4. サービスの変更

- (1) 日吉図書館4階への学部生の入室について、2017年1月～11月の試行期間を経て、11月下旬から正式運用を開始した。
- (2) 会計処理の見直しやハスラーの利用により、年度末に2週間ほど停止していた文献複写・現物貸借サービスを継続できるようにした。

5. 協生館図書室

- (1) 新入生図書室ツアーを初めて実施した（4月10日～14日）。
- (2) 図書のカバー付き装備を開始した。
- (3) 荷物で席が埋まってしまうのを防止するため閲覧席に荷物入れ用のバスケットを設置した。
- (4) 早慶システム共同運用に向け、協生館図書室の貸出規則を簡素化するため、協生館3研究科の図書委員と懇談の場を設け、教員会議等で2018年度規則変更（教職員・大学院生の規則統一）の合意を得た。

信濃町メディアセンター

1. 組織変更

大学病院の「健康情報ひろば」と医療・健康情報Webサイト「KOMPAS」を安定的に運用・提供するため、パブリックサービス担当の下に健康情報担当を設置した（4月1日）。

2. 資料再配置

書庫狭隘対策として、以下の資料移動を行った。

- (1) 書庫2-4階の製本雑誌（1994～1998年）約36,000冊を山中資料センター2号棟へ、製本

雑誌（1999～2001年）を信濃町メディアセンターの地下書庫へ移動（8月21日～27日）。

- (2) 1階レファレンス書架の医学中央雑誌, Index Medicusなど約200段分を地下集密書架へ移動（3月17日～18日）。

3. 蔵書管理・除籍

- (1) 山中資料センター1号棟信濃町旧分類資料へのBOOKIDバーコードラベル貼付作業を実施した（6月29日）。
- (2) 山中資料センター2号棟への資料移動に伴う塾内重複雑誌62タイトル約950冊の除籍が完了した（7月31日）。

4. 利用者サービス関連

- (1) 新年度のオリエンテーション（ガイダンス・ツアー）に、新企画としてセルフツアーを開始した（4月3日～6日）。
- (2) LibQUAL+[®]の利用者からの回答を受け、空気清浄機を書庫1階と地下1階セミナー室に設置、文具コーナーにホチキスを追加した。また、ブランケット貸出サービスを開始した（12月～2018年3月）

5. 館内施設の改修

- (1) 1階書庫・閲覧室・事務室・地下（一部）の照明器具のLEDへの取り換え工事を実施した（8月21日～27日）。
- (2) 防災対策として、煙感知器、パッケージ型消火設備、書庫棟避難はしごを新設した（3月17日～18日）。

6. 学外協力活動（古医書出品）

- (1) 福井県ふるさと文学館の「医と文学～杉田玄白からかこさとし、山崎光夫まで～」展に『解体約図』（大鳥蘭三郎旧蔵）、『耄耋（ぼうてつ） 獨語・玉味噌』（富士川文庫）ほか9点を貸出した（展示期間：7月15日～9月18日）。
- (2) 中津市歴史民俗資料館分館大江医家史料館の「『解体新書』と前野良沢」展に『魯西亞本紀略』（富士川文庫）1点を貸出した（展示期間：12月6日～2018年2月12日）。

7. 信濃町キャンパス内での資料展示

医学部開設100年記念のアートセンター展示「信濃町往来—建築いま昔」に関連して、北里記念医学図書館内において以下の小展示を行った。（展示期間：1月5日, 11日～12日, 18日～19日, 25日～26日）

- ・「信濃町往来—卒業アルバムの風景」2階ロビー
1回生1923（大正12）年ほか卒業アルバム5点
- ・「没後200年 杉田玄白」1階ロビー
『解体約圖』杉田本ほか貴重資料5点

8. 外部評価への協力

- (1) 大学病院機能評価
「健康情報ひろば」および「KOMPAS」、病院図書館としての信濃町メディアセンターについて、根拠資料の提供や部署訪問に対応し、優秀・適切な評価を受けた（11月10日）。
- (2) 医学教育分野別国際認証評価
自己点検評価報告書の根拠及び関連資料の準備・提供を行うとともに、信濃町メディアセンターの実地調査視察（9月26日）にも対応し、特に優れているとの評価を受けた。

理工学メディアセンター

1. IEEE論文執筆セミナー

6月にIEEE論文執筆セミナーを開催し、69名の参加者を集めた。講師はIEEE Client Services DirectorのRachel Berrington氏で、同氏の来日に合わせて企画した。英語でのレクチャーということもあり、留学生も数多く参加した。

2. 論文掲載料（APC）割引情報の公開

研究支援の一環として、オープンアクセス論文掲載料（Article Processing Charge：APC）割引に関する情報を、当センターWebサイトにて公開した。

3. 資料配置見直しおよびインベントリ

レファレンス資料の見直しを図った。1999年以前に刊行された資料のうち主要なものは本館1階に残し、その他を別館に移した。また2018年1月には、本館2階図書約9万冊のインベントリを専門業者に外注した。

4. 館内整備

レファレンス資料の見直しにより空いた本館1階壁際の書架を、2018年2月に撤去した。これにより広い通路が確保され、車椅子が通行できるようになった。

3月中旬にはレファレンスデスク周りをリニューアルした。レイアウト変更により創想館側への見通しが開け、利用者の動きが見えやすくなった。またローカウンターとホワイトボードを設置し、少人数セミナー用のエリアとして利用できるようになった。

5. 大型テレビの新たな活用

映画イベント「メディア de シネマ」を計7回開催したほか、ラグビー関東大学対抗戦（本学出場試合）やWorld Baseball Classic日本戦、選抜高等学校野球大会（慶應義塾対彦根東戦）、SPARC Japanセミナーや大学卒業式のYouTube中継などを、創想館1階の大型テレビで放映した。

6. 館内BGM

11月より創想館1階でBGMを流している。ボードアンケートを行ったところ概ね好評である。

3. 看護医療学図書室関連

(1) 慶應看護100年記念事業への協力

標記事業への協力として、看護医療学図書室にてアルバム等の写真やアーカイブ資料のデジタル化を支援した。

薬学メディアセンター

1. 蔵書管理

- ・継続購入している洋図書15タイトルについてアンケートを行い、有機化学関連の2タイトルを残して、その他13タイトルの継続を中止した。
- ・文部科学省の第3期がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの活動開始にあたり、助成金で購入された資料55冊が図書館に寄贈され、既存の「がんプロコーナー」に追加した。

2. 館内整備

- ・閲覧席の椅子17脚を交換した。

湘南藤沢メディアセンター

1. 施設関連

- (1) キャンパス防災訓練の中で館内の避難訓練を実施した。（総合政策学部・環境情報学部エリア（9月13日）、看護医療学部エリア（9月21日））
- (2) 館内における食事場所の試行運用
キャンパスへのキッチンカー導入に協力する形で、10月以降、メディアセンター1階のラウンジを食事可能な場所として試行的に運用した。
- (3) 春季休業期間中に1階オープンエリアの閲覧椅子38脚の入替えを実施した。

2. マルチメディアサービス関連

- (1) 3Dプリンターのリプレース
ファブスペースの3Dプリンターの主力機種であるMakerBotシステム8台のリプレースを9月に実施した。

メディアセンターの主な出来事 2017年度

資料

2017

4月 5月 6月 7月 8月 9月

<p>本部 および 共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/1 図書目録にRDA適用開始 ●4/6 「慶應義塾大学メディアセンターデジタルコレクション」を公開 ●5/12 早稲田大学図書館と「図書館システム共同運用に関する覚書」に調印 	<p>3キャンパス (日吉・理工・湘南藤沢)合同 オープンライブラリー開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●8/8 新図書館システムに対するRFPを公開
<p>三田</p>	<p>4月-5月 オリエンテーションに新規プログラム(留学生、通信教育課程生用ツアー)を追加</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/3 カウンターに筆談ボードの設置 ●8/30-9/28 図書館配架の洋書を旧図書館へ移管、図書館内の資料再配置 ●9月 1階イベントエリア、データベースエリア新設 
<p>日吉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●5/16、23 ライブラリーコンサート 観客174+238名 ●6/23、30 レポートの書き方講座 “問い”を立てて「調べ学習」の一歩先へ ●6/29、7/4 外部講師による企業情報の探し方セミナー ●7/3 選書ツアー 参加者15名(丸善丸の内本店) 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/20-26 セミナーエリアを移設・増席 
<p>信濃町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/1 パブリックサービスに「健康情報担当」を設置 ●4/3-6 新企画としてセルフツアーを開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/21-27 雑誌(1994-1998年)約36,000冊を山中資料センター2号棟へ、雑誌(1999-2001年)を館内地下書庫へ移動 ●8/21-27 館内の照明器具のLED交換工事を実施
<p>理工学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/13、20、7/7、9/21、11/16、2018/1/31、2/1 メディアdeシネマ 全9作品 参加者計64名 ●5/15、6/27 第11回&12回 サイエンスカフェ 参加者43名+22名 ●6/1 IEEE論文執筆セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/20 矢上キャンパス(理工学メディアセンター)から出火した設定)全体避難訓練 
<p>湘南藤沢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●4/1 AG-DVX200(貸出用4Kビデオカメラ、プロ仕様)導入 ●4/1 新書・文庫のカバー付き配架を開始 ●4/3-28 メディア内でカモを探そう!(メディアセンターセルフツアー企画) 参加者119名 ●5/23 WRC(ライティング&リサーチコンサルト)トークショー 「卒論のスタートダッシュを決めるための4つのTips」参加者9名+Youtube視聴者42名 ●5/24 メディアセンターフレンズ企画「SFCへパソコン for ルーキー」出場者6名、観覧者15名 ●6/15 AV/ファブコンサルタント企画「刺しゅうミシンでつくる! どうぶつブローチワークショップ」 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/1 VICON VANTAGE(モーションキャプチャーシステム)追加導入 ●9/7 ファブスペースの3DプリンターMakerBotシステム8台のリプレース 
<p>薬学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●6/2 第1回薬学メディアセンター-学生図書委員会 ●6/20 学生向け資料頒布会 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/20 洋図書13タイトルの継続中止を決定

2018

10月

11月

12月

1月

2月

3月

- 10/10 電子資源管理ソフトの移行に伴い、KOSMOSからの電子ジャーナルへのアクセス手順を変更

- 11/1-12/8 図書館サービス品質評価のための調査LibQual+® (ライブカル) を実施

- 11/2 電子ジャーナル問題を検討する「学術コンテンツ整備連絡会」開催

12/20 3キャンパス(日吉・矢上・湘南藤沢)
ビブリオバトル対抗戦開催
(於:日吉キャンパス)

3キャンパス
(日吉・理工・湘南藤沢)合同
オープンライブラリー開催

- 2/28 海外研修報告会

- 3/1 学外(国内他機関・海外)ILLの手数料を廃止

- 3/8 早慶共同運用図書館システムにEx Libris社のAlma, Primo VEの採用決定をプレスリリース

- 10/4-10 慶應義塾図書館貴重書展示会(丸善・丸の内本店)

- 10/6-11/30 広報誌『知識の花弁』読者アンケート実施



- 2月 4階フロアのリニューアル。閲覧用大型机の増設



- 3/1 文献シリーズ「高橋箒庵文庫 茶道関係資料目録」刊行

- 10/6 第1回知的書評合戦ビブリオバトル



- 11/21, 22 レファレンス資料を1階から地下書庫へ移動

3/5-9

- 製本雑誌を3階から地下書庫へ移動

- 11/10 大学病院機能評価に協力、健康情報ひろば、信濃町メディアセンターについて、優秀・適切な評価を獲得

12月-3月 LibQUAL+® 回答を受け、空気清浄機の設置、ブランケット貸出サービスを開始



- 1/5, 11-12, 18-19, 25-26

アートセンター展示「信濃町往来」に関連して、大正期からの医学部卒業アルバム、『解體約圖』ほか貴重資料5点を医学図書館建物内に展示

- 3/17, 18

1階の医学中央雑誌、Index Medicusなど約200段分を地下集密書架へ移動

- 3/17, 18

防災対策として、煙感知器、パッケージ型消火設備、書庫棟避難はしごを新設

- 10/27 第4回ビブリオバトル 出場者5名・観客23名

- 11/1 館内BGMおよびボードアンケート開始



3/4-18

- 館内改修(レファレンスデスクのリニューアル他)

- 10/3-5, 12 SFCへのキッチンカー試行導入に合わせ、ラウンジを飲食用に開放
その後12月以降も、キッチンカーの昼夜営業に合わせ、ラウンジ開放時間帯を延長

- 11/1 マイクロ資料の移管・除籍



- 11/14 第2回薬学メディアセンター-学生図書委員会

- 12/5 学生向け資料頒布会



- 3/19

- 閲覧席の椅子17脚を新調